

平成 29 年度 第2次総合計画 施策マネジメントシート
 (平成 28 年度の実績評価)

作成日 平成 29 年 7 月 19 日
 更新日 平成 年 月 日

総合計画体系	政策No.	3	政策名	うるおいと活力のある快適なまちの形成	施策主管課	建設部 道路整備課
	施策No.	15	施策名	道路・河川の整備	施策主管課長名	古屋 桂
施策関連課名			都市計画課、用地管理課			

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) * 人や自然資源等	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)
市民・歩行者・通行車(二輪・四輪車) 河川・水路 対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	道路を安心・安全に利用でき、移動時間の短縮が図られる。 雨水が適正に処理・管理されることで、災害・水害の発生がなくなる。 意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
① 対象指標	ア 市人口	人	見込み値		72,644	72,322	72,001	71,680	71,359	71,038
			実績値	72,963	72,715	72,305	72,018			
	イ 河川の延長	km	見込み値		127.2	127.2	127.2	127.2	127.2	127.2
			実績値	127.2	127.2	127.2	127.2			
	ウ		見込み値							
			実績値							
② まちづくり指標	A 市内道路の整備状況に満足していると回答した市民の割合	%	目標値		未設定	43.8	44.6	45.4	46.2	47.0
			実績値	43.4	37.8	39.0	40.0			
	B 目的地までの移動時間が短縮されたと回答した市民の割合	%	目標値		59.4	55.0	57.0	59.0	61.0	63.0
			実績値	52.9	58.3	56.4	52.0			
	C 補修した橋梁の数	橋	目標値		未設定	143	151	155	160	164
			実績値	9	137	143	147			
	D 水害の心配がないと回答した市民の割合	%	目標値		57.9	54.4	54.8	55.2	55.6	56.0
			実績値	54.2	59.4	55.1	53.5			
	E		目標値							
			実績値							
まちづくり指標設定の考え方		A: 道路整備に関する市民の満足度を示す。 【市民アンケートの『市内の道路の整備状況に満足していますか』において、肯定的回答の割合】 B: 道路の利便性に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの『道路が整備されているため、目的地までの移動時間が短縮されたと感じますか』において、肯定的回答の割合】 C: 橋梁長寿命化計画による安全対策の成果を示す。 【橋梁長寿命化修繕計画に基づき長寿命化対策の補修をした橋梁の数(平成25年度以降に補修した橋梁数の合計)】 D: 河川・水路の整備に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの『住んでいる地域は、水害の心配はないと思いますか』において、肯定的回答の割合】								
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方等)		A: 計画的な生活道路の整備と維持管理により、5年間で約4ポイントの上昇を目標設定 B: 計画的に幹線道路等の整備をすることにより5年間で約10ポイントの上昇を目標設定 C: 年次計画により補修した橋梁の数。該当橋梁323に対し10年間で191橋の長寿命化を予定 D: 計画的に河川・水路等の整備をすることにより5年間で約2ポイントの上昇を目標設定								

3 予算等の推移

※当初予算額。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
関連事業本数	44	42	40	36	38		
関連事業予算額(単位:千円)	627,256	586,497	690,413	713,003	964,779		
(予算額の内訳)	国庫支出金	233,745	203,800	275,014	264,815	246,490	
	県支出金	17,005	17,072	17,566	18,816	19,326	
	地方債	162,000	153,800	206,000	195,700	450,600	
	その他	8,150	8,450	8,450	16,704	8,704	
	一般財源	206,356	203,375	183,383	216,968	239,659	

4 評価結果(施策の有効性評価)

① 目標達成度評価 (目標値と実績値との比較)

- 目標値より高い実績値だった
- 目標値どおりの実績値だった
- 目標値より低い実績値だった

※左記の理由

目標値に対し、Aでは下回る、Bでも下回る、Cは実数、Dでは下回る結果であった。A・Bが下回ったのは、市民生活に密着した道路修繕対応や整備に対する要求が強いものがあると考えられる。Dでは近年のゲリラ的豪雨への警戒感からと考えられる。

② 時系列比較(過去3ヶ年程度の比較)

- 成果がかなり向上した
- 成果がどちらかと言えば向上した
- 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)
- 成果がどちらかと言えば低下した
- 成果がかなり低下した

※左記の理由

各事業を着実に進めてはいますが、各まちづくり指標A・Cは増加方向、B・Dは減少方向となりました。Aは迅速な修繕対応によるものと思われます。Cは実数です。Bは上規格道路供用開始が無いため、Dは近年大規模水害が無いので警戒心によるものと思われます。施策満足度の過年度との比較でも、必要性は高く、満足度は低迷している傾向の変化が見られないことから成果はほとんど変わらないと判断しました。

③ 他自治体との成果実績値の比較

- かなり高い成果水準である
- どちらかと言えば高い成果水準である
- ほぼ同水準である
- どちらかと言えば低い成果水準である
- かなり低い成果水準である

※左記の理由

本市の道路整備に対する満足度は、40%であった。近隣市町では5年に一度のアンケート調査によりタイムリーな比較は出来ないが、H26年度甲斐市のアンケート結果で、生活道路の整備状況に対する満足度として0を標準として-0.25ポイントと概ね平均値で本市より上回っている。河川整備では満足度は53%であった。設問内容が違うので一概に比較はしにくい。県による県管理1級河川の整備、町村時代から準用河川や都市下水路等の整備により、雨水などの災害対応が進められてきているため、平均値の評価は得たが、甲斐市のアンケート結果0.81と比較すると低い評価結果となるので、二項目で勘案すると、どちらかと言えば低い成果水準にしました。

④ 住民の期待する成果水準との比較

- かなり高い成果水準である
- どちらかと言えば高い成果水準である
- ほぼ同水準である
- どちらかと言えば低い成果水準である
- かなり低い成果水準である

※左記の理由

施策別満足度で見ますと、過年度より道路河川に対する重要視は約70%と高く、市民がインフラ整備を求めている事が推察されます。これに対し、満足傾向としては、約35%と低い値になっていることから判断しますと、住民の期待する成果水準では、どちらかと言えば低い成果水準にしました。これは、①でも述べましたが、市民生活に密着した道路整備を求めていると思われます。

5 まとめ(課題の抽出とその解決に向けた取り組み)

施策の課題 (現状の問題点)	課題を解決し、施策の実現を図るための取り組み方針	
	課題解決の方向性	具体的な改善策・取り組み内容
市民生活に密着した道路整備の遅れ	南アルプス市交通安全プログラム掲載道路整備、苦情等への迅速対応	認定市道874kmに対し満足のいく道路整備を行うことには無理がある。このため、毎年、関係部署による合同点検で抽出された危険箇所を含む道路整備の推進。毎年度修繕要望300件前後、苦情・通報が350件前後と膨大な要求があるため、迅速な対応により最小限の対応費用に出来るよう努めていく。
大規模災害時における、緊急避難路等の不足	道路整備プログラムによる、計画的な幹線道路網の推進	施策別満足度傾向及び施策重要視傾向でも推察されるように、市民の防災意識は高いが満足度が低い状況からも、東海地震などの大規模災害が懸念されるなか、市内では、南北の縦軸が整備は進んでいます。地域につながる横軸の幹線道路が不足している状況です。このため、災害時には市内外からの緊急車両の通行に支障が出る可能性があるため、道路整備プログラムに基づいた計画的な横軸の整備を進める。
道路構造物の経年劣化による安全性の低下	経年劣化による道路構造物について、改修や修繕により長寿命化を図り安全性維持。橋梁長寿命化計画に基づく、耐震補強・修繕対応。舗装長寿命化計画に基づく、健全な舗装管理の推進。	耐用年数を既に過ぎているインフラ構造物が大半を占め、これから益々その割合が増していく中で、長寿命化計画に基づく経費の平準化を図りながら、計画的に進めていく。
雨水等による冠水	下水雨水処理計画に基づく事業推進。頻発箇所の把握、処理	市内にある県管理河川をはじめ、市内には無数の小水路があるが築造された時点と流出時間等が大幅に変わっている状況で、構造物が対応しきれない状況である。下水道整備エリアについては、雨水処理計画に基づく事業推進を担当課と調整を行い進める。その他のエリアについては、これまでの被害箇所の把握、整理を行い優先的に処理を進める。